



2024年9月20日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 九 州 地 協 第 3 3 回 定 期 委 員 会

強くしなやかな J R 産 業 を 築 く た め に

組 織 と 運 動 を 磨 き 、 責 任 あ る 活 動 を 全 力 で 推 し 進 め よ う !

J R 連 合 九 州 地 方 協 議 会 は 9 月 7 日 、 福 岡 市 内 で 第 3 3 回 定 期 委 員 会 を 開 催 し 、 向 こ う 1 年 間 の 活 動 方 針 を 決 定 す る と と も に 、 新 役 員 を 選 出 し た 。 J R 連 合 か ら は 住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 が 参 加 し た 。

吉田祥司議長（J R 連 合 副 会 長 ・ J R 九 州 労 組 中 央 執 行 委 員 長）は、冒頭のあいさつにおいて安全の確立について触れ、いかなる経営状況に陥ったとしても安全の確立は事業運営の根幹にあるべきとの考えを示した。そして、安全を脅かす事象に対しては、背後関係を含めた実態解明と再発防止に努めるとの決意を明らかにし、世界一安全な J R グループを目指した全組合員の協力を要請した。また、J R 連 合 ビ ジ ョ ン の 実 践 を



吉田祥司議長

通じた組織強化・拡大の取り組みについては、貨物鉄産労九州地区本部における民主化闘争の取り組みに更なる支援を行うこと、産業政策と政治の取り組みについては、地域と向き合い、関係主体との連携強化に努めるとともに、政策の実現に向けて政治参画の必要性を訴えた。



住吉局長

来賓として参加した住吉局長は、安全の確立、2024春闘の成果と課題、組織と労使関係など、J R 連 合 の 直 近 の 取 り 組 み と 社 会 情 勢 を 報 告 し た 。 そ の 中 で 、 労 働 基 準 関 係 法 制 の 見 直 し の 動 き に 対 し て 、 働 き 方 の 見 直 し に 合 わ せ た 法 整 備 は 必 要 で は あ る も の の 、 労 働 組 合 を 軽 視 す る よ う な 法 改 正 は 間 違 い で あ り 、 労 働 組 合 の 有 用 性 を 連 合 や 他 産 別 と と も に ア ピ ー ル し 、 労 働 組 合 の 結 成 に つ な が る 仕 組 み づ く り を 求 め て い こ う と 呼 び か け た 。

議事では、川崎淳史事務局長（J R 九 州 労 組 中 央 執 行 委 員）が提起した活動方針（案）等に対して、2名の委員から安全や組織拡大に対して発言があり、川崎事務局長の答弁を経て、全議案が満場一致で承認された。

役員選出では、渡邊淳常任委員（J R 西 労 組 福 岡 地 本）が退任し、新たに大塚政喜常任委員（J R 西 労 組 福 岡 地 本）を選出。最後に、再選した吉田議長の団結がんばろうにより委員会を閉会した。

